

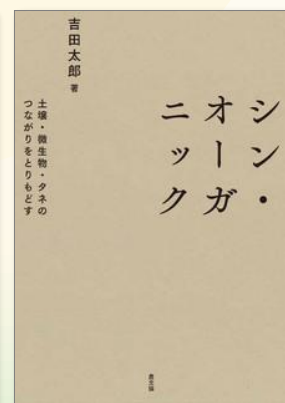
No.KD1150
2026年8月

KinoDen

農学おすすめ

2026

KinoDenの農学分野のおすすめ書籍を、
近刊・入門書を中心にピックアップしました。
ぜひ選書の参考にご覧ください。



※一部 企業、公共・官公庁機関様にご購入いただけない書籍がございます。
詳細は下記URLをご参照ください。

※本カタログに掲載の情報は2026年7月時点のものです。
価格等は予告なく変更となる場合がございます。

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部
ict_ebook@kinokuniya.co.jp

リストでは約60点ご紹介！
▼**タイトルリスト**はこちら▼

https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD1150_list.xlsx



	書影	著者	Product ID	ISBN	出版社	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	内容紹介							
1		高野克己 谷口亜樹子【編】	KP00055599	9784254435559	朝倉書店	202109	PDF	¥11,880	¥17,820	¥23,760
		米の科学	日本人にとって最も身近な食物である米について多面的に解説。単なる「主食」にとどまらない米の全貌を理解するための一冊。〔内容〕作物としてのイネ／良食味米の育種と栽培／構造・栄養成分／米料理／加工品／米と微生物／精米と貯蔵							
2		林公則	KP00090993	9784818826458	日本経済評論社	202401	PDF	¥5,280	－	¥7,920
		農業を市場から取りもどす	有機農産品を食べるには、高いお金を払うしかないのか。社会への貢献度が高いほどまかなない「みんなのための農業」を地域で実現していくために。ヨーロッパを中心に先進的な取り組みを紹介。「出版社提供情報」							
3		中野明正	KP00101708	9784422400693	創元社	202405	EPUB (固定 レイアウト)	¥6,600	－	¥9,900
		スマート農業	国内では高齢化による労働力不足などの要因から農業が大きな岐路に立たされる一方で、世界では爆発的人口増加や紛争、自然災害などで、何億もの人々が食糧不足や飢えに苦しんでいる。これらの課題を解決する切り札として、先端科学技術やデータの活用によるスマート農業が注目を集めている。この新しい農業の国内外における具体的な取り組み事例や課題、将来展望を、図版や写真、イラストを使ってやさしく解説するシリーズ第11弾。「出版社提供情報」							
4		林紀代美	KP00110287	9784621310656	丸善出版	202412	PDF	¥16,500	－	¥24,750
		ローカルな伝統食の消費，認識，その変容	「地域らしい食」「伝統食」という表現は、その範囲，期間にあいまいさを含んでいる。ある地域に住む人々は、なぜ、どのようにそれらを食べ、用い続けているのか。時を経て「変わるもの・変わらないもの」は何だろうか。独特の魚食文化がみられる能登などの北陸地方をフィールドに、地域ならではの伝統食の消費実態とその変容・継承のしかたを探る。「出版社提供情報」							
5		荏開津典生 鈴木宣弘	KP00138379	9784000289245	岩波書店	202602	PDF	¥8,910	¥17,820	¥26,730
		農業経済学 第6版	世界の食料問題から日本農業の問題まで、農業・食料に関わる疑問・関心は多岐にわたる。その理解のためには、食料・農業・農村の「実態に関する知識」と、考えを進めるための「経済学的な理論」とが必要である。最新の統計データを用いて、こうした「知識と理論を組み合わせた体系」である農業経済学を基礎から学ぶ。「出版社提供情報」							
6		山川理	KP00141093	9784768459928	現代書館	202605	EPUB/フロー	¥6,600	－	－
		サツマイモの世界 世界のサツマイモ 増補版	歴史・植物・民俗・農政学など多彩な観点からサツマイモを紐解いた一冊に、最新情報「サツマイモそれから」を追加した待望の増補版登場！本書は、研究者であれば今後の新品種開発に、生産者であればブランド芋の栽培に、消費者であれば健康面を考えた食べ方などに、それぞれに活用できる。身近なサツマイモを深く掘り下げた好適書。サツマイモ研究の先駆者が、その栄養価、品種の特徴、用途や栽培法はもとより、企業と連携した新品種開発やルート調査、最新の国内・海外事情などを語り尽くす！「出版社提供情報」							
7		日外アソシエーツ【編】	KP00143522	9784816930928	日外アソシエーツ	202604	PDF	¥29,700	－	¥44,550
		「食」と農業 レファレンスブック	2010年から2025年に刊行された「食」と農業・畜産業・水産業に関する参考図書を一覧できるレファレンスブック。『「食」と農業 レファレンスブック』（2010.11刊）の追補版。事典、辞典、ハンドブック、法令集、図鑑・図集、年鑑・白書、統計集など2,873点を収録。目次・内容解説も掲載。「書名索引」「著編者名索引」「事項名索引」付き。「出版社提供情報」							
8		デイビッド・montゴメリー アン・ビクレー【著】 片岡夏実【訳】	KP00102314	9784806716693	築地書館	202408	EPUB/フロー	¥7,040	－	¥10,560
		土と脂	今も売れているベストセラー『土と内臓』の著者による最新作！！内臓にある味覚細胞、健康な土、身体に良い脂肪・悪い脂肪から、コンビニ食の下に隠された飢餓まで、土にいのちを、作物に栄養を取り戻し、食べものと身体の見方が変わる本。前著に続き、目からうろこが落ちる記述が満載！◎相乗的に作用しあうファイトケミカル、ミネラル、脂肪。◎植物は、体外に胃袋を持つ。外部の胃袋としての根圏マイクロバイオームによって、体外で消化を行うのだ。◎非菌根型菌類は有機物を分解し、植物が吸収できる形で栄養を放出する。「出版社提供情報」							
9		鈴木宣弘	KP00113166	9784862515834	三和書籍	202503	PDF	¥4,400	¥5,500	¥6,600
		食の属国 日本	「日本の農業は、世界で最も過保護である」と日本国民に長らく刷り込まれてきた。だが、実態は全く逆。「世界で最もセーフティネットが欠如している」のが日本の農業だ。「対策はせずに疲弊させて、有事には罰金で脅して作らせればいい」わけがない。なぜ、日本はこれほど命を守るのに脆弱な国になったのか。要因の一つは、「終戦直後から米国が日本を余剰生産物の最終処分場とし、日本人に米国の農産物を食べさせる政策を進めた」ことだ。米国農産物に量的に依存するようになったため、農産物に健康上の不安があっても文句が言えなくなり、「もっと安全基準を緩める」と言われると従わざるを得ないほどに依存が強まってしまった。「出版社提供情報」							
10		山口亮子	KP00120822	9784295411154	クロスメディア・パブリッシング	202507	EPUB/フロー	¥5,280	－	¥10,560
		農業ビジネス	農家の大量引退、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下、農作物の価格高騰によって、日本の農業は終わるー。なんてウソに騙されてはいけません。斜陽産業と思われがちな農業ですが、今、大変革が起きているのをご存じですか。「業界再編」「輸入・輸出」「土壌」「生産と消費」「肥料」「農機」「食品流通」「サステナブル農業」「スマート農業」の9つの切り口から、綿密な現場取材とデータ分析に基づく農業現場の実情と最新事例を紹介しています。日本人の「食」に直結し、テクノロジーによって進化を続ける「巨大市場・農業」の“いま”と“これから”を伝える1冊です！「出版社提供情報」							
11		平澤明彦 阮蔚 小針美和【監修】	KP00123456	9784259518769	家の光協会	202412	EPUB (固定 レイアウト)	¥9,900	－	¥19,800
		図解 知識ゼロからの食料安全保障入門	食料安全保障のリスクは、輸入依存や自給率低下だけではない 新型コロナウイルス感染症の流行や、ロシアのウクライナ侵攻といった緊急事態が続いた昨今、食料の輸入停滞や、食料価格の上昇が引き起こされ、日本をはじめ、各国で食料安全保障への意識が高まりました。2024年日本では、国会で農政の憲法ともいわれる「食料・農業・農村基本法」が改正され、加えて罰則規定を設けた「食料供給困難対策法」も成立。世界と日本、国家と個人、不測の事態と平時の問題が複雑に絡み合う食料安全保障を、農林中金総合研究所の研究員をはじめ、各分野第一線の研究者が図解を交えてわかりやすく解説します。「出版社提供情報」							
12		農文協【編】	KP00130082	9784540251580	農山漁村文化協会	202601	PDF	¥5,610	－	¥8,415
		いま知りたい お米と農家の話	お米はなぜ足りなくなったのか。米価はどのように決まるのか。農家は適正価格をどう考えているのか。米価はこのまま市場流通に委ねていいのか。有機栽培の米づくりは何かいいのか。このまま事態を傍観する以外にやれることはないのか。よき食べ手してやれることは。豊凶を繰り返すたびに農家と社会を揺さぶってきた歴史をふり振り返り、お米を誰かまかせでは成り立たない時代に入ったことを共有し、作り手と食べ手のどちらにも無理のない出口を示す。「出版社提供情報」							